

Akridata™ 社がNational Exascale Dayを祝福

Akridata™はNational Exascale Dayに参加し
エクサスケールクラスのシステムが提供しうる新たな進歩や発見を祝し
Data-Centric AIの課題と進歩に対する業界での認知向上を目指す

エッジで発生する大量のAIデータがもたらすエクサスケールクラスのデータ問題は新たな経営課題です。Akridataの革新的な新ソリューションは、ディープラーニング、推論、エッジコマース、データガバナンス、エンタープライズアプリケーションの統合を可能にし、自動車産業における自動運転車両、ヘルスケアにおけるAIによる診断、さらには無人製造など、様々な業界にまたがる実世界のAIアプリケーションを加速します。Akridata™はNational Exascale Dayに参加し、Data-Centric AI時代に新たな経営課題となってきたエクサスケール・データへの課題と解決にむけたテクノロジーの進歩と発展に対する認知向上に取り組みます。

2021年10月18日、カリフォルニア州シリコンバレー発 – “Data-Centric AI データ中心の人工知能(AI)”のカテゴリリーダーであり、パイオニアであるAkridata社はこのほど、2021年10月18日のNational Exascale Dayを祝し、Data-Centric AI時代に新たな経営課題となってきたExascale Data(エクサスケール・データ)への課題と解決にむけたテクノロジーの進歩と発展に対する認知向上に取り組みます。

2019年に始まった「[National Exascale Day](#)」は、世界最速クラスのスーパーコンピューターの力を借りて、医学、材料科学、エネルギーなどの分野で画期的な発見をする科学者や研究者を称える日です。エクサスケール・コンピューティングとは、1秒間に 10^{18} 回以上の浮動小数点演算(1エクサフロップス、**exaFLOPS**)、すなわち1クインティリオン(10億)回の計算を行うことができるコンピューティング・システムのことです。参考までに、天の川銀河の幅は1クインティリオンキロメートルです。1クインティリオンが 10^{18} であることから10月18日は「National Exascale Day」とされました。

Akridata社は2021年10月5日に業界初となるEdge-Core-CloudリソースにまたがるスマートなData Pipeline(データパイプライン)とAIワークフローを作成・管理するソフトウェアソリューション「**Akridata Edge Data Platform™**」をプレス発表いたしました。Akridataのソフトウェアにより、物理的に散在するエッジデバイスからのリッチデータのストリームが、整理、フィルタリング、アクセス、処理が不可能なデータの雪崩を引き起こす際に発生する、エクサスケールクラスのデータ問題を解決することが可能です。

「Akridataでは、エクサスケール・システムの問題がどこでどのように発生するかという点に変化を感じています。」とAkridata社の共同創業者兼CEOであるクマール・ガナパシー(Kumar Ganapathy)は述べています。また次のようにつづけます。「エクサスケールの問題は、ますますデータ主導になり、スーパーコンピューティングだけでなく、さまざまな業界のビジネスに現れています。このような変化は、AIデータを活用した“エッジ”によってもたらされており、エクサスケールクラスのデータ問題を、高度な自動化や自律性を追求する企業の経営会議に直接持ち込むことができます。またNational Exascale Dayに参加することにより、最新の開発状況や技術の把握、エクサスケール時代を牽引する組織を認識し情報共有および追跡することが可能になる。」と述べています。

National Exascale Dayとは

2019年に始まった「[National Exascale Day](#)」は、世界最速クラスのスーパーコンピューターの力を借りて、医学、材料科学、エネルギーなどの分野で画期的な発見をする科学者や研究者を称える日です。エクサスケール・コンピューティングとは、1秒間に 10^{18} 回以上の浮動小数点演算(1エクサフロップス、**exaFLOPS**)、すなわち1クインティリオン(10億)回の計算を行うことができるコンピューティング・システムのことです。参考までに、天の川銀河の幅は1クインティリオンキロメートルです。1クインティリオンが 10^{18} であることから**10月18日**は「**National Exascale Day**」とされました。エクサスケール・デーに参加するには、ソーシャルメディアで#ExascaleDayを使用したり、科学的発見やその背景にある科学者や研究に焦点を当てたクイズに参加したり、エクサスケール・コンピューティングが世界にどのような影響を与えるかを説明したりします。

National Exascale Dayに参加した背景

- ❖ 2019年に始まった「National Exascale Day」は、世界最速クラスのスーパーコンピューターの力を借りて、医学、材料科学、エネルギーなどの分野で画期的な発見をする科学者や研究者を称える日です。
- ❖ 業界の専門家によると、2025年までに、175ZB(ゼタバイト)の新しいデータの75%がエッジ側で生成されると言われています。
- ❖ 高度なAIと自律性は、エッジで生成された大量のデータを継続的にキュレーションし、フィルタリングして、継続的なディープラーニングを促進することにかかっています。これはExascaleクラスのデータに対する新たなチャレンジです。
- ❖ Akridataは、Data-Centric AI(データ中心のAI)のための業界唯一のエッジデータプラットフォームを構築しました。これは、複雑なAIモデルの反復的な改良ではなく、AIデータの構造と品質に焦点を当てた新しいITカテゴリーです。Akridataは、スマートなData-Pipeline(データパイプライン)、自動化されたワークフロー、オンデマンドでのデータへのアクセス、高速なデータ探索により、Data Centric AIを実現する分散型のソフトウェアレイヤープラットフォームを提供します。
- ❖ Akridataのプラットフォームは、適切なデータにアクセスするまでの時間を1/10に短縮し、計算機やストレージの使用効率を4倍に高め、データサイエンティストや機械学習エンジニアの生産性を2倍に向上させることを実証済みです。
- ❖ **National Exascale Day**に参加することにより、最新の開発状況や技術の把握、エクサスケール時代を牽引する組織の認識、情報共有および追跡することが可能であり、AkridataとしてData-Centric AIの課題と進歩に対する業界での認知向上を目指します。

AIのエクサスケールデータ問題

自律走行の世界では、大量の複雑なAIデータセットを使った継続的なDeep Learningが必要です。固定またはモバイルのエッジデバイスによって生成されるビデオやライダーデータなどのリッチデータのストリームは、エッジ-コア-クラウドのソース全体で整理、フィルタリング、追跡、処理されなければなりません。膨大な量のデータが、これらのデバイスによってエッジで生成されています。

例えば、テスト段階にある自動運転車は、1日で数テラバイトのデータを生成します。さらに、運転支援技術や自動運転技術を搭載した数千万台の自動車を実稼働し、毎日ペタバイト級のデータを生成しているとすると、エクサスケールのデータ管理が必要になります。

さらに、無人販売店やスマートシティなど、他の多くの業界でも、同様のデータ爆発率が発生しており、対策が必要です。業界の専門家によると、2025年までに、新たに発生する175ZB(ゼタバイト)のデータの75%がエッジからもたらされるといいます。

- 高度なAIと自律性は、エッジで生成された大量のデータを継続的にキュレーションしてフィルタリングし、継続的なDeep Learningを促進することにかかっています。これはExascaleクラスのデータチャレンジです。
- Akridataは、Data-Centric AIのための業界唯一のエッジデータプラットフォームを構築しました。これは、複雑なAIモデルの反復的な改良ではなく、AIデータの構造と品質に焦点を当てた新しいITカテゴリです。Akridataは、スマートなデータパイプライン、自動化されたワークフロー、オンデマンドでのアクセス、高速なデータ探索により、データセントリックAIを実現する分散型ソフトウェア層を提供します。
- Akridataのプラットフォームは、適切なデータにアクセスするまでの時間を1/10に短縮し、計算機やストレージの使用効率を4倍に高め、データサイエンティストや機械学習エンジニアの生産性を2倍に向上させることが実証されています。

以下のビデオから詳細をご覧ください。「[Akridataを選ぶ理由](#)」と「[自律的な世界](#)」です。

Akridataは最近、シリーズAで1500万ドルを調達しました(別のニュースリリースを参照 - リンク)。シリコンバレーを拠点とする同社は、50人以上のチームメンバーを擁しており、エンジニアリングやカスタマーサクセスなどの職種を積極的に募集しています。詳細はAkridata社の[キャリアサイト](#)をご覧ください。

Akridataについて

Akridataは、AIのExascaleクラスのデータ問題を解決することで、“Data-Centric AI”を実現します。**Akridata Edge Data Platform**は、Edge-Core-Cloudのリソースにまたがる初のソリューションで、分散型構造とスケーラブルなプロセスにより、キュレーションされ一貫性があり関連性の高いAIデータセットを提供します。Akridataは、シリコンバレーで最も尊敬されている起業家、データサイエンティスト、製品エンジニアによって2018年に設立されました。彼らは合わせて200件近くの特許を持ち、世界で最も難解なデータにかかわる課題を解決してきた実績があります。**Akri**はギリシャ語で「エッジ」を意味します。詳細はakridata.comをご覧ください。

メディア連絡先: media@OrionX.net